

信楽焼の可能性を追求

ライフ・セラミックス展リーダー 藤田 仁史さん



ライフ・セラミックス展では、“生活の心地よさ”を提案するために、デザインや機能を重視した、身近で新しい焼き物づくりを展開します。

同展は、単なる作品の制作や展示ではなく、市場を意識し、商品化につなげ、信楽陶器産業の振興を目的に行うことが大きな特徴です。

滋賀県立大学の印南比呂志教授をコーディネーターに迎え、つくり手と売り手がデザイナーと共同で、魅力あるデザインでそれでいて機能的な新商品を開発、展示します。

また、生活空間に溶け込む環境に優しいエコ商品、従来から作られていた花器などの生活雑器にデザイン性を加えた商品を開発します。期間中、シンポジウムやコンペ、ワークショップなども計画し、信楽焼の新たな可能性を追求していきます。

信楽まちなか芸術祭は、楽しんでいただくものです。何回訪れても楽しめる展示、企画を行いたいと思います。また、買うことも楽しみの一つです。開発した商品はその場で購入していただける予定です



▲新商品のデザインを検討する皆さん

ライフ・セラミックス展では、従来の信楽焼だけでなく、「信楽焼でこういうことができるのか」という一歩進んだ信楽焼、伝統工芸が秘める可能性、技術力を見ていただければと思います。そして新たな市場の開拓、信楽焼の振興につなげていきたいと考えています。

問い合わせ 信楽陶芸トリエンナーレ実行委員会事務局 (特区推進室)
ホームページ <http://tri.shigaraki-sp.com>

信楽まちなか芸術祭 2

盛り上げよう

10月1日から11月23日の5日間、わたって行われる信楽まちなか芸術祭。
今回は、この事業の一つ、「ライフ・セラミックス展」の専門委員会リーダー藤田仁史さんに、事業の魅力や意気込みについてお聞きしました。

男女共同参画活動を応援 男女共同参画社会づくり 活動団体補助金の申請受付中

市では、性別に関わらずみんなが個性と能力を十分に発揮できる豊かな社会づくりの一つとして、男女共同参画に関する活動に取り組みる団体に補助金を交付しています。

対象団体

市民等により自主的に組織され、団体としての意思決定による事業実施や適正な経理処理ができ、かつ次の要件を満たしている団体

- ① 男女共同参画に関する活動を主な目的としていること。
 - ② 市内に活動の拠点をもち、年間を通じて主に市内で活動していること。
 - ③ 主に市内に在住、在勤または在学する18歳以上の方5人以上で構成されていること。
- ※ただし、市が交付する他の補助金を受けている団体は対象になりません。
- 対象事業**
男女共同参画社会の実現につながると思われる事業
- ▼事業例**
◎講演会や学習会などの開催
◎寸劇や朗読劇などによる啓発

- ◎啓発チラシやパンフレット、ミニコミ誌などの作成 配布
- ◎女性や男性の自立、仕事と家庭生活の両立などへの支援活動
- ◎ドメスティック・バイオレンス(DV)被害者へのサポート活動
- ◎先進事例の調査研究や情報収集、アンケート調査の実施や報告書作成

事業の実施期間

平成22年4月1日から平成23年3月31日までに行われる事業

対象経費

事業実施に必要な経費のうち、講師謝金や旅費、事務用品、コピー代、会場使用料など

補助金交付額

予算の範囲内で補助します。ただし、1団体につき年間2万円が上限額となり、千円未満は切り捨てとします。

補助金交付の申請

所定の書類を7月1日(木)までに人権推進課へ提出してください。

問い合わせ

人権推進課 人権政策係
☎65-0695
☎63-4582